

令和 6 年 8 月分

件名	内容（原則、原文のまま記載しています。）	町の回答	担当課
小中学校体育館のエアコン設置について	町内の小中学校の体育館にエアコンの設置はしないのでしょうか？ 危険すぎる暑さの中あんな体育館で学校活動、運動、部活などしていたら、ほんとに死人がでると思います。 夏休み夜のクラブ活動に参加していますが、暑すぎて大人でも熱中症になりました。 子どもならもっと大変なことになります。 スポットバズーカですが、あんまり意味がないです。 その一部だけです。動いて運動するのに、あのスポットバズーカにするなら、もっと上からもっとたくさん数がないとダメです。実際箕面市や神戸市で体育の指導者に確認しましたが、スポットクーラーがあまり意味なく、今は箕面市神戸市も体育館にエアコンがあるようです。 近隣でも茨木市もついています。高槻市では入札が始まっています。大山崎も八幡市も向日市も導入しています。 大阪府の予算も関係していると聞きましたが、どうなっているんでしょうか？ 町立体育館もエアコンもないし、プールもない、この町は子ども達が行き場所がないです。 他の市町村に比べて、島本町が子育てに対して自慢できる政策点はなんでしょうか。教えていただければ、と思います。	ご意見をいただいております「小中学校体育館のエアコン設置について」ですが、令和4年度に全ての小・中学校（6校）にスポットバズーカを導入いたしました。 これまで暑さ指数が31℃以上となって体育館を使用できなかった日数が、令和3年度までは10日を超える年もありましたが、設置後の令和4年度においては1日もなく、令和5年度には1校において1日のみ、令和6年度は1日もない状態（令和6年8月15日現在）となっておりますことから、これまで体育館での運動ができない日が続くといった課題は解消できているものと考えております。 導入に際しては、大阪府内の先進自治体への視察等による研究を行った結果、スポットバズーカについて検討を行うこととなりました。 効果を検証するために、実際の機器をお借りしてデモンストレーションを行い、各学校の校長先生等にも確認していただき、児童生徒が活動するエリアにおいて、エアコンより安価で、同じような効果が得られるという結論になり、熱中症対策は喫緊の課題でありましたので、費用対効果も考慮して、スポットバズーカを導入することにいたしました。 一方、スポットバズーカの特性上、機械の後ろ側から廃熱による温風がでる課題はありましたが、四隅の扉付近に設置して、廃熱を屋外に逃がして体育館内に熱がこもらないように設置位置を検討して課題をクリアいたしました。 ご意見をいただいております児童生徒の熱中症対策ですが、各学校とも、運動を行う箇所の安全管理（暑さ指数測定）を行うとともに、こまめな休憩や、水分等の補給を行うなど、十分な配慮のもと、必ず教員等が見守る中で活動を行っております。 なお、卓球やバトミントン等、風に影響するスポーツに関しましては、休憩回数を増やしたり、風向を変えるなど、活動状況にあわせて工夫して対応しております。 次に、「子ども達の行き場所がない」とのご意見ですが、老朽化が進む町立体育館、小中学校プール及び東大寺公園テニスコートについて、水無瀬川緑地公園敷地内への移転整備に向けた基本計画の策定を今年度、取り組んでいるところです。 基本計画の策定の際には、住民アンケートやパブリックコメントを実施することは、勿論のことですが、小・中学校の児童生徒にもアンケートをお願いして幅広く意見を伺うこととしております。 最後に、「他の市町村に比べて島本町が子育てに対して自慢できる政策点」ですが、令和6年度の施政方針（広報しまもと令和6年度4月号掲載）で5つの重点施策の一つとして、「子育て支援・教育の充実」を掲げております。 人口規模や地理的特性など、他市町村と比較することは難しいですが、小さな町のメリットである住民の方々のご意見を聞き取りやすい環境であることから、子育てに関しても、様々な意見を反映しやすく、それぞれの状況に応じた柔軟なサービスを提供しやすいことが良い点であると認識しております。 この度の貴重なご意見を今後の参考とさせていただきますので、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。	教育総務課